

お知らせ

平成29年9月1日
大阪管区气象台発表

平成29年の春から夏にかけての実際の天候経過を検討し、近畿地方の梅雨入りと梅雨明けの確定について、以下のとおりお知らせします。

	梅雨入り		梅雨明け
本年	6月20日ごろ	本年	7月13日ごろ

なお、近畿地方の梅雨入りは、平年に比べかなり遅く、1951年の統計開始以降、遅い方からの第3位となりました。梅雨明けは、平年に比べ早くなりました。

(参考)

1. 近畿地方の梅雨入りと梅雨明け(平年、昨年)

	梅雨入り		梅雨明け
平年	6月7日ごろ	平年	7月21日ごろ
昨年	6月4日ごろ	昨年	7月18日ごろ

2. 平成29年の梅雨の時期(6~7月)の代表的な地点における降水量と平年比及び階級

	降水量(ミリ)	平年値(ミリ)	平年比(%、階級)
豊岡	339.5	336.8	101(平年並)
舞鶴	317.5	350.4	91(平年並)
京都	355.5	434.4	82(平年並)
彦根	472.5	408.2	116(平年並)
姫路	297.5	331.6	90(平年並)
神戸	236.0	333.7	71(少ない)
大阪	213.0	341.5	62(少ない)
洲本	327.5	340.7	96(平年並)
和歌山	177.5	333.5	53(かなり少ない)
潮岬	529.5	642.6	82(平年並)
奈良	169.0	353.8	48(かなり少ない)

(降水量の合計は速報値、平年値は1981~2010年の平均値です。)

(注意事項)

・梅雨の入り・明けには平均的に5日間程度の遷移期間があり、その遷移期間のおおむね中日をもって「日ごろ」と表現しています。

本件に関する問合せ先

大阪管区气象台 地球環境・海洋課 季節予報担当 電話：06-6949-6653